

超音波法によるアンカーボルト長さ点検(測定)要領書

工事件名 _____

平成 年 月 日

株式会社 関東エンジニアリングサービス

7. 測定方法

(1) 測定範囲の調整

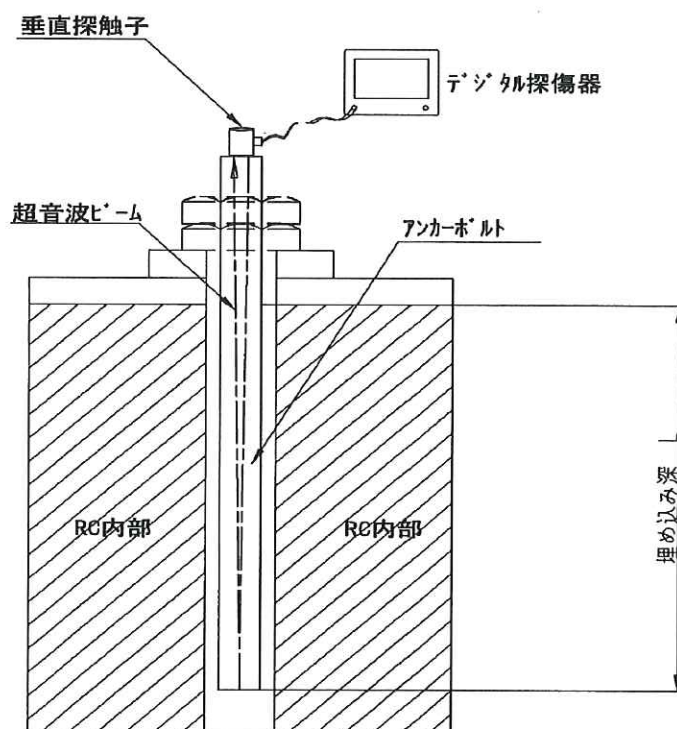
橋梁毎の着手時及び日々毎(測定に入る前)に、距離校正用対比試験片を使用(事前に長さを測定)し、超音波測定器の超音波伝播時間軸を対比試験片の長さに調整する。

(2) 測定感度の調整

測定部の第1底面エコー高さを表示画面の50~100%になるように、測定感度を調整する。

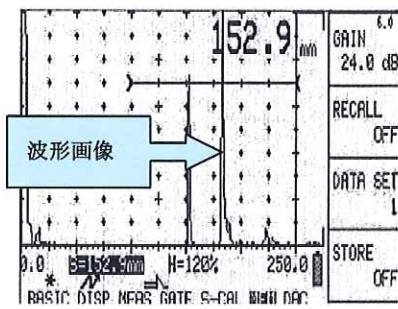
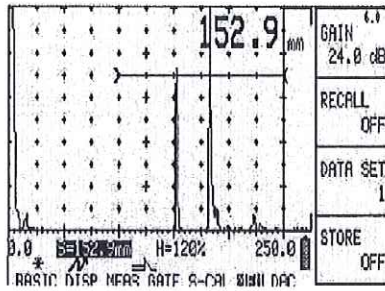
(3) 本測定

下図のように各アンカーボルトの頭部端面に接触媒質を塗布し、探触子を密着させて長さを測定する。測定数値を記録用紙に記入すると同時に、測定波形及び記録値を記録用紙に出力、又はモニターをデジタルカメラ等で撮影する。

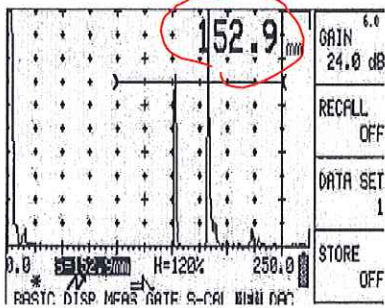


波形画像出力参考例

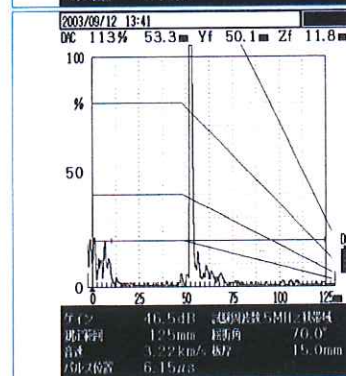
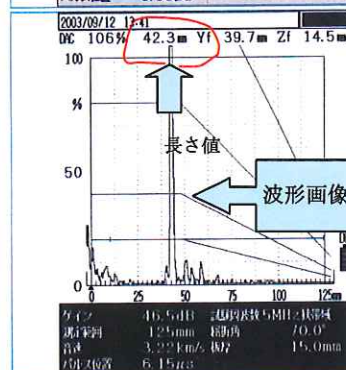
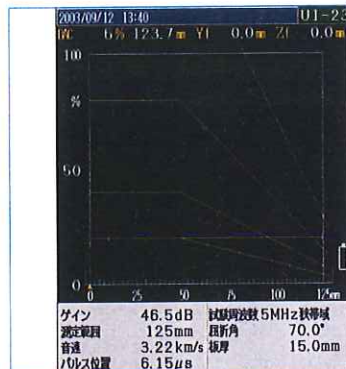
USM25



長さ値



UI23



機種:
種別:
細別:
写真区分:
写真付録:
撮影箇所:
施工管理値:

機種:
種別:
細別:
写真区分:
写真付録:
撮影箇所:
施工管理値:

機種:
種別:
細別:
写真区分:
写真付録:
撮影箇所:
施工管理値:

8. 測定結果

測定結果は、所定の測定記録表に記録し、併せてアンカーボルト毎波形を添付する。

点 検 (測 定) 結 果 記 録 表

工 事 件 名

平 成 年 月 日

株 式 会 社 関 東 エ ン ジ ニ ア リ ン グ サ ー ビ ス

橋 梁 諸 元

橋梁名					橋梁整理番号		
管理者	工事事務所			出張所		出張所	
路線名	国道	号	現旧区分	距離標	自:	至:	
橋長	m		径間数	仮設竣工年			

調査対象落橋防止

下部工事番号	形式	施工年度

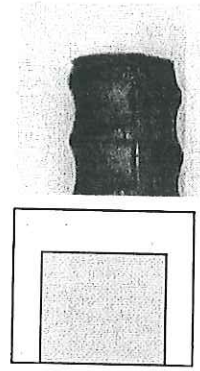
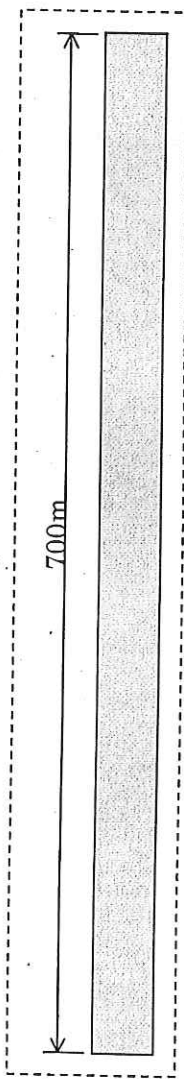
試験装置

装置名	形式	製造者名	測定範囲	
			標準レンジ	mm
			拡張レンジ	mm

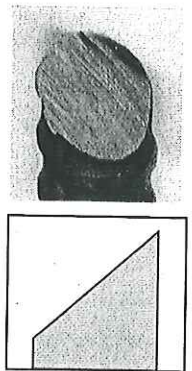
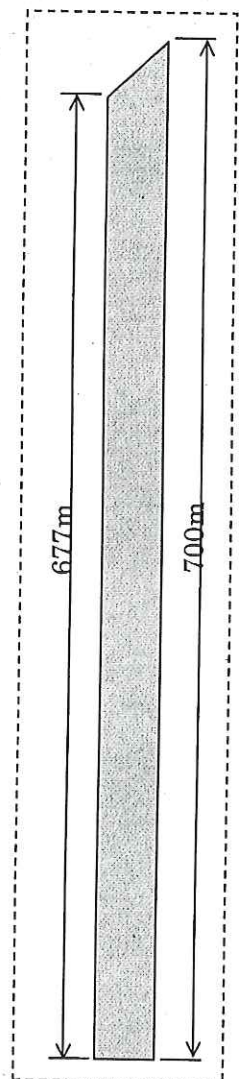
測定期間・日

測定者

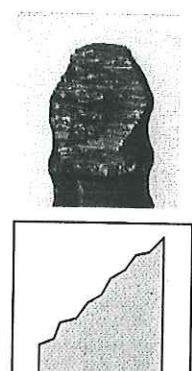
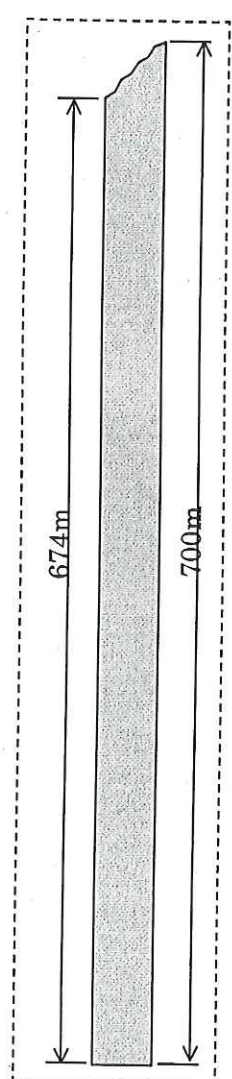
測定日	~	氏名	資格



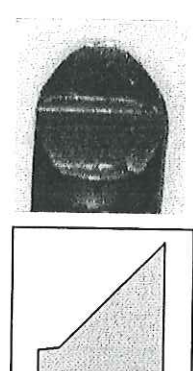
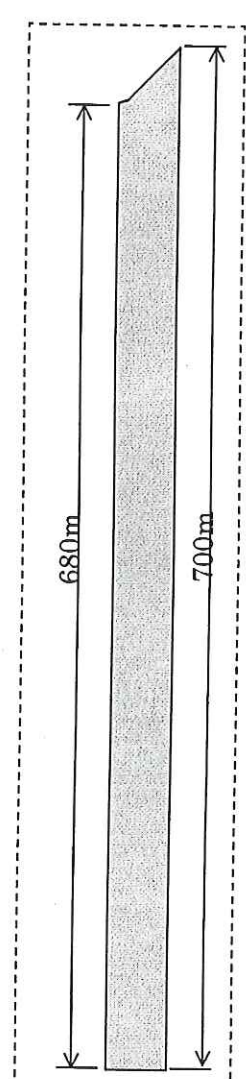
59.50	Sa699.9	SET-#	41
1.0		RECALL	off
		STORE	off
		DELETE	off
CAL ?DAC TRIG MEM DATA			



76.50	Sa709.0	SET-#	42
1.0		RECALL	off
		STORE	off
		DELETE	off
CAL ?DAC TRIG MEM DATA			



76.50	Sa681.7	SET-#	44
1.0		RECALL	off
		STORE	off
		DELETE	off
CAL ?DAC TRIG MEM DATA			



76.50	Sa674.9	SET-#	45
1.0		RECALL	off
		STORE	off
		DELETE	off
CAL ?DAC TRIG MEM DATA			